

令和4年度 学校自己評価システムシート 日高市立高麗川小学校

目指す学校像	夢いっぱい 笑顔いっぱい 希望あふれる高麗川っ子の育成 ～子供たちが通いたい学校 保護者が通わせたい学校 教職員が勤めたい学校 地域の方が誇りに思う学校～
重点目標	1)主体的・対話的で深い学びによる学力の向上 2)コミュニティ・スクールを基盤とした小中一貫教育の推進 3)授業力・指導力の向上 4)生徒指導・教育相談の充実 5)特別支援教育の推進

学 校 自 己 評 価							
年 度 目 標			令和4年度評価 (1月19日現在)				
評価項目	具体的方策	評価指標	A+Bの割合		達成状況	達成度	次年度への課題と改善策
			職員	保護者			
組織運営の充実 (小中一貫の視点)	<ul style="list-style-type: none"> 学校教育目標の周知と共有 小中合同研修会の実施による小中一貫教育の推進 	1 学校は、学校教育目標「考える子」「思いやりのある子」「ねばり強い子」の実現を目指し、児童の育成に努めている。 (学校教育目標を達成するための教育活動(行事等で)等)	95.7	95	<ul style="list-style-type: none"> 学校教育目標を具現化するために各種行事や教育活動との関連を意識し、実施するよう努めた。 小中の合同研修会を年3回実施し、各教科等において、内容の構成を確認し、9年間を見通した指導計画の作成に着手できた。 	B	<ul style="list-style-type: none"> 各種行事や教育活動の目的と学校教育目標のつながりを一層明確にし、実践を積み重ねる。 9年間を見通した系統性のある指導の充実を目指す。また、学校運営協議会、地域学校協働本部と連携し、小中の子供たちの交流を図る。
		2 学校は、中学校との連携を推進し、小中一貫教育に努めている。 (高麗川小中一貫の教育課程編成、小中合同研修会、学校運営協議会等)	70.2	78.3			
基礎学力の定着に関して	<ul style="list-style-type: none"> 主体的・対話的で深い学びを目指した授業研究会の実施 自主学習への意欲付けによる家庭学習の習慣化 	3 学校は、学習内容が身につくよう、学習規律を定着させ、わかりやすい授業、楽しい授業をしている。 (職員研修、ICT、チームティーチング等)	89.3	91	<ul style="list-style-type: none"> 児童の発表力を伸ばすために、授業研究会を年間6回実施し、教員の指導力向上につなげた。 埼玉県学力・学習状況調査の結果分析から、学習方略と非認知能力に着目して、主体的・対話的で深い学びの視点に基づいた授業改善を行った。 オンライン授業を積極的に実施し、児童の学びを止めずに学習の機会を保障できるようにした。 	A	<ul style="list-style-type: none"> 協働的な学びを通して自分の良さや友達のよさを実感するとともに、主体的・対話的で深い学びの視点から授業改善を継続する。 タブレットを道具として使えるように、ICT研修を継続していく。
		4 学校は、児童が家庭学習に取り組めるよう指導している。 (家庭学習の手引き、タブレットを活用した家庭学習等)	95.7	89.8			
保護者・地域との連携に関して (コミュニティ・スクールの視点)	<ul style="list-style-type: none"> 各種便り、メール等による情報発信 学校公開の実施 共感と傾聴を大切に三者相談の実施 	5 学校は、保護者・地域に学校の取組や教育活動を伝えている。 (学校運営協議会の充実、ホームページ、学校・学年・学級だより等)	95.7	95.5	<ul style="list-style-type: none"> 行事や保護者の参観する機会を増やすことができた。また、中止となった校内図工展は、限定配信を行った。 学校運営協議会の方からお力添えをいただいて、除草作業や藤棚の撤去を行った。 保護者への連絡や相談には、迅速な対応に努めた。 	A	<ul style="list-style-type: none"> 保護者・地域の方々がいずれも学校に来て、教育活動に参加できる体制を整えていく。 学校運営協議会の方々からご助言いただき、地域とともにある学校を目指していく。 保護者、地域の声を丁寧に傾聴するとともに、学校全体で共有し、真摯に対応していく。
		6 学校は、家庭への連絡や相談など、意思疎通を図ろうとしている。 (教育相談日、電話連絡、連絡帳等)	97.9	85.8			
社会性・人間性の育成	<ul style="list-style-type: none"> いじめアンケート、生活アンケートの実施による実態把握 生徒が主体となり活躍できる行事の実施 	7 学校は、児童がだれとでも仲良く生活し、いじめや不登校がないように努めている。 (毎月のいじめ防止委員会、毎週の生徒指導情報交換、心が通う学級づくり等)	91.5	86.8	<ul style="list-style-type: none"> 学期ごとにいじめアンケートを実施し、早期発見・早期対応にあたることのできた。不登校傾向の児童には、定期的な連絡と家庭訪問を実施した。また、外部機関とも連携し、対応することができた。 感染対策を講じながら、3年ぶりの運動会や各行事を可能な限り実施することができた。 	A	<ul style="list-style-type: none"> 思いやりのある児童を育み、道徳の時間はもとより児童の心に響く教育活動を実施する。また、ネットの書き込み被害を扱う授業を計画し。善い・悪いの判断力、実践力を育てていく必要がある。 地域の方々や自然に触れる機会、体験活動を充実させ、豊かな心を育てていく。
		8 学校は、学級活動や児童会活動、学校行事などを通して、児童の心の育成をしている。 (学年・学級レク、縦割り遊び、体育的行事、遠足・宿泊的行事等)	89.3	94			
安心・安全な教育環境	<ul style="list-style-type: none"> 施設設備の月点検、日常点検の実施 定期的な自転車点検や学期末ごとの交通安全指導、年度当初の交通安全教室の実施 	9 学校は、校舎内外の施設設備などが安全に使用できるようにしている。 (日々の校舎内外点検、毎月の安全点検、異常箇所の修繕等)	93.6	93	<ul style="list-style-type: none"> 定期点検を確実に実施できた。コロナ感染症防止を第一に考え、トイレの修繕を優先的に実施した。 飯能警察の方にご協力いただき、不審者侵入対応訓練を実施した。放送をよく聞いて安全に避難することができた。 	A	<ul style="list-style-type: none"> 複数の目による確実な定期点検を毎月実施した。今後も児童の目線に立ち、安全点検を実施していく。 今後も避難訓練並びに不審者侵入対応訓練を実施し、教職員の安全意識の向上を図り、児童の安全を守っていく。
		10 学校は、児童に登下校時の交通安全など、安全安心な学校作りに努めている。 (市役所危機管理課・見守り隊との連携、教職員パトロール等)	97.8	84.3			

学校運営協議会での評価
実施日 令和5年2月22日
学校運営協議会の委員からの意見・要望・評価等

・放課後子供教室では、科学をテーマに進めプールの水や植物を顕微鏡で見るなど学校と協力して児童の育成ができた。
 ・行事を通して、小・中一貫という言葉をもっとアピールしていく必要がある。
 ・コロナウイルス感染症が収束したら、実際に小中合同研修会を見学したい
 ・学校教育目標を具現化するために各種行事や教育活動が実施されている。
 ・子供への接し方や対処法など先生の間でも勉強会や話し合いを行って欲しい。
 ・これからの小中一貫校の教育カリキュラムを知りたい。
 ・どの学級を見ても落ち着いて授業に取り組んでいる。
 ・指導力向上のための授業研究は大切だと思っているので、継続して実施して欲しい。タブレットを使った授業も子供たちに有効な使い方を指導して欲しい。
 ・市内の学校と比べても、オンライン授業などとても早く対応していると思う。もっと子供たちが活用できるよう指導して欲しい。
 ・一人一台のタブレット等、日高市の先進性が見える。
 ・毎回同じ子供が発言したりしているので、算数の授業コースなど自分で選ぶのではなく、先生が判断した方がじっくり考える時間を確保できるように思う。
 ・職員研修を実施した事により、先生方の指導力向上につながっている。
 ・PTAと協力して校内敷地の除草等活動することができて大変良かった。
 ・ふれあい推進委員と健全育成会合同で花植や公民館での小・中学生の作品展の飾り付けなどができたら良いと思います。
 ・コロナ禍での家庭訪問の難しさや意思疎通の限界がある。保護者の考えも多様で教員の大変さが伝わる。
 ・学校内外の様子を伝えてくれる学校だよりを楽しみにしている。保護者の声を傾聴するのはもちろんだが、学校でできないことは、しっかり保護者に伝えることが必要だと思う。
 ・学校のHPで個人情報に配慮しながら学校生活が良く広報されていると感じる。
 ・いじめのアンケートを実施し、早期発見に努めている。
 ・アンケートも大切だが、担任やその他の先生方の温かい励ましの声かけが子供たちには何よりも大切だと思う。ネットやスマホ等の内容は、家庭だけで指導するのは難しいので、ぜひ機会あることに学校でも指導して欲しい。
 ・地域の皆様と自然に触れる機会を通して、道徳の必要性においても合わせて充実できたら良いと思う。
 ・子供同士のもめ事に親が入って話をよく聞く。事が大きくならないよう、様々な場面での情報交換の必要性を感じます。
 ・人権教育・多様教育・福祉教育も入っており良いと思う。外部機関との連携がとても大切だと思う。
 ・CAP講座が行えていない学年がある。また、CAP以外でも小中一貫コミュニティを活力に伝えられる場が作れたら良い。
 ・緊急の危機管理メールは、タイムリーに発信されており、良好と思われる。
 ・校内の藤棚の撤去等を含め、子供達の安全第一を考えると非常に良かった。危機管理の目線で事前の対策を望みます。
 ・コロナウイルス感染症だけではなく、防災や防犯など様々な面に目を向けなければならないので、引き続き安心・安全に心がけて欲しい。不審な事件が身近に発生しているので、地域の人にも協力を求めて安全対策する事も必要だと思う。
 ・誘拐予告など地域の企業・運送屋・郵便局などに連絡して地域の目を増やせたら良いと思います。
 ・保護者の車で登校する児童がいるのも気になる。通学班や親の繋がり希薄化しているのか心配です。
 ・南平沢や奥田整形近くに手押し信号をつけて欲しい。

※達成度「A」ほぼ達成(8割以上) 「B」概ね達成(6割以上) 「C」変化の兆し(4割以上) 「D」不十分(4割未満)